

Share the Citizen Spirits

VOL.5 (2020.4.19) 提供:(一社)消費者市民社会をつくる会(ASCON)

新型コロナウイルスの感染拡大が続き、国民生活や事業活動に重大な影響をもたらしています。会員・関係者のみなさまから寄せられたメッセージ、そして「生団連」が政府に提出した「提言”適切な「抗体検査」実施体制の早期整備を”」(4月17日)を紹介します。さらに、動画「子どもを窒息事故から守る」と、(公社)日本小児科学会、(一社)日本子ども虐待防止学会、(一社)日本子ども医学会が連名で公表した「お子様と暮らしている皆様へ」の中から「自分の苛立ちを知り、リラックスする方法」を再度紹介します。

近況報告・メッセージのご紹介

【E.Kさんより】大切にしたいこと！

ソーシャルディスタンスと言われる社会的距離が、気持ちや心まで離れてしまわないようなこころみが大切だと感じています。

【M.Fさんより】困難を乗り越えていきましょう！

4月になってから、私は在宅勤務が続いています。緊急事態宣言発令下、在宅勤務の要請も強くなり、もう今月は出社できなくなってしまいました。社員一部ならまだしも、全員がWEB会議やPCメールを使用するとなると、回線が渋滞してしまいます。ですので、回線が空く朝の8時前までと夜の6時以降の方が、仕事はかどります。もう少しの辛抱です。

我慢強い日本人の潜在的な力を信じて、何とかこの困難を乗り越えていきましょう。

【H.Tさんより】孫を早く抱きたい(涙)！

この状況では他にどうしようもなく、しかしありがたいことに(テレワークの利かない)現場で、幸いにも対面がほとんどない仕事なので人の少ない電車でゆっくり座って通勤しています。3月に孫が増えましたが、直接会わないことにし我慢しています。いつになったら抱いてやれることや。みなさま、とにかく頑張ってください！(笑)

【S.Sさんより:(一社)宝石鑑別団体協議会(AGL)] 生き延びたい！

最近の宝石業界は中国に頼りきりでしたので、新型コロナウイルスの蔓延で中国からのインバウンド需要が無くなり、香港や上海での宝飾関連イベントも全て中止で青息吐息です。私共の宝石鑑別団体協議会は、百貨店や大手の宝飾チェーン店の指定鑑別機関なので今回の緊急事態宣言により、かなり打撃を受けています。何とか国や自治体の支援を受けて生き延びてほしいと祈るばかりです。弊会はコンプライアンスと消費者利益を常に重視して活動をしてきたと考えています。このコロナ禍から回復した時に、悪貨が良貨を駆逐していないように願っています。

■“閉じこもり”生活での注意点■ 子どもを窒息事故から守る！動画(8分) ※消費者庁 HP より

https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/report/report_013/

窒息発生時の対処法



消費者事故調査委員会は、「玩具による乳幼児の気道閉塞事故」を調査しました。コンピューターシミュレーションにより、口に入った玩具によってどのように気道が閉塞されるかといった窒息のメカニズムを明らかにしています。「こんな小さいもので?」「こんな形で?」と思うような玩具でも、窒息事故は起こります。4cm以下の小さな玩具は、乳幼児の手に触れない場所に保管しましょう。もし事故が起きてしまった場合の対処法も御紹介しています。小さなお子さんがいるご家庭では特に注意を！！

【生団連】提言”適切な「抗体検査」実施体制の早期整備を”（2020年4月17日）

「生団連」（国民生活産業・消費者団体連合会）は、4月17日、「政府」（加藤厚生労働大臣・西村経済再生担当大臣）あてに提言（適切な「抗体検査」実施体制の早期整備を）を提出しましたのでご紹介します。

【提言】

今般、緊急事態宣言の対象が全国に拡大され、わが国はまさに国を挙げて新型コロナウイルスの封じ込めへの取組みを強化することとした。しかし、広く国民の行動、活動を制限するこの対策は経済・社会の大きな犠牲を伴い、長期にわたる継続は難しい。しかるべきタイミングでの経済・社会活動の平常化は必須である。その一方で、短期間ではワクチンの開発は間に合わず、多くの人々が免疫を有する状態である「集団免疫」が獲得される可能性は低い。医療崩壊を招く感染爆発を防ぎつつ、活動制限を緩和、解除していくには、正確な情報に基づく慎重な判断が求められる。こうした考え方から、緊急事態宣言を先行させた欧米諸国は、経済活動の再開を進めるにあたり、感染と免疫獲得状況の把握のため、抗体検査の活用方針を打ち出している。一部報道によればわが国でも月内にも数千人を抽出した抗体検査を実施する方向で調整が進められている。現段階では抗体検査にはその精度、信頼性や大量供給体制の未整備など様々な問題がある。しかし、国民が活動制限に耐えていられる時間には限りがある。これらの問題も的確かつ速やかにクリアされなければならない。

以上を踏まえ、「国民の生活・生命を守る」ことを使命とする生団連は、「医療崩壊の阻止」と「経済・社会活動の平常化」の両立を図るべく、以下の2つの観点から、適切な抗体検査実施体制の整備を早期に進めるよう政府に対して要望する。

1. 職場や社会への人員復帰や人材再配置が可能に

すでに抗体を有し、再び感染したり他人に感染させるリスクの低い人は、職場への復帰を含め、平時に近い形での社会活動が可能となる。抗体検査により確認された抗体保有者から順次通常の活動に復帰させることで、経済・社会活動を速やかに回復させることが期待できる。また、抗体検査の結果は感染拡大を防ぐための職場、組織での人員の再配置を進めるうえでの有効な判断材料のひとつとなる。とりわけ、医療現場における支援人員の増強と人員再配置は、医療崩壊を回避するという観点からも重要と考えられる。

2. 無症状者も含めた感染状況の見える化による安心感・納得感の醸成

抗体検査の継続実施により、無症状者も含めた感染状況が把握できるようになり、社会がどれだけ集団免疫獲得に近づいているかがわかるようになる。さらに、各地域において抗体検査を進めることで、国全体の対処方針の策定だけでなく、各地域がそれぞれの事情に応じた効果的な対策を講じることも可能になる。抗体検査は対策策定の判断指標となるだけでなく、それを国民や地域住民に示すことで、講じられた対策に対する安心感と納得感が醸成される。対策の有効性を高めるうえでも、国民や地域住民の安心感と納得感は極めて重要なものである。

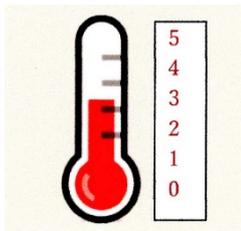
以上

自分の苛立ちを知り、リラックスする方法

※コロナの不安を抱えながら、家に閉じこもっていると、精神的に参ってしまいがちです。前号でご紹介した日本小児科学会・日本子ども虐待防止学会・日本子ども医学会が4月6日に、「がんばっているみんなへ大切なお願い」と一緒に公表した「お子様と暮らしている皆様へ」から抜粋して紹介します。共有し、お子様と暮らしている方にも伝えましょう。

子ども医学会が4月6日に、「がんばっているみんなへ大切なお願い」と一緒に公表した「お子様と暮らしている皆様へ」から抜粋して紹介します。共有し、お子様と暮らしている方にも伝えましょう。

https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/20200406_02.pdf



5. 切れる……誰かを頼りましょう
4. 切れる間近……危険ではないことを確認して部屋を出るなど試みましょう
3. 著明な苛立ち……子どもと距離をとりましょう
2. 中等度苛立ち……リラクゼーションを使いましょう
1. 少し苛立ち……自覚しましょう
0. 安定

【リラクゼーション例】

- 深呼吸：できるだけ大きく吸って、20秒以上かけてゆっくりと吐く
- 力を抜く：肩を挙げて力を入れ、その後だらんと力を抜く
- 互いに手をもみあったり、背中をさすりあう

【提供】

(一社)消費者市民社会をつくる会・ASCON
〒150-0001 渋谷区神宮前2-6-1 食品衛生センター1階
TEL:03-5413-7353 FAX:03-5413-7354
<http://ascon.bz/>